



関大校友会
ひらかた

題字は、書道元日展会友 故 中井登眺氏（昭36法卒）

関西大学校友会
枚方支部
 発行人 阿部 進
 〒573 枚方市渚栄町
 -1172 6-18
 TEL 072-847-1111
 振替口座 大阪
 1-313236
 編集
 「会報」編集委員会

支部総会&懇親会のご案内

平成22年10月23日（土）午後5時より受付開始
 福引き抽選会の特賞は「1万円の商品券3名」

本会は、母校関西大学の発展に寄与し、会員相互の親睦と融和を図ることを目的とし、枚方市内に居住又は、勤務地を有する方々の団体であります。

平成22年度の枚方支部総会&懇親会は、『大阪キャッスルホテル（天満橋）』にて開催致します。

懇親会の企画として例年通り空くじなしの福引き抽選会を開催、今回の特賞は「1万円の商品券3名」です。先輩・後輩・友人などお誘いあわせの上、多数ご出席していただきますようお願い致します。

本年3月に卒業された107名の方々には、例年通り枚方支部総会に無料にて、ご招待させていただきますので多数ご出席して頂きますようお願い致します。

又、枚方支部では、日帰りバスツアー・ミニ講演会・カラオケ・グルメ・ゴルフ・ボウリングなど様々な親睦会を行っております。これを機にドンドン参加してください。

《ご参考》

大阪観光の新しい乗物、水陸両用バスはキャッスルホテル前の「はちけんや」から発着します。桜ノ宮公園の大川に飛び込む豪快な水しぶきとクルージングを楽しむこともできます。

大人3,600円、小人2,300円、要予約
 問合せは06-6929-0110 日本水陸観光(株)まで。

- ☆開催日 平成22年10月23日（土）
- ☆受付開始 午後5時
- ☆総会開始 午後5時20分
- ☆懇親会開始 午後6時
- ☆開催場所 大阪キャッスルホテル7階(天満橋)
06-6942-2401 担当 前川



- ☆懇親会費10,000円
 卒業後20年以内の方（平成2年～11年卒）
8,000円
 卒業後10年以内の方（平成12年～21年卒）
6,000円
 本年3月卒業の方々無料招待
 女性会員5,000円
- ☆福引き特賞 1万円の商品券3名

福引き大抽選会の景品ご寄贈のお願い

本年も例年通り福引き大抽選会を行いますので、恐縮ですが、景品のご寄贈をして頂ける方は、10月14日(木)～20日(水)に枚方市駅北口ビオルネ南館『野村呼文堂』までお届けください。
 ご寄贈のお問い合わせは和田正彦075-983-3533まで

校友会枚方支部会報第40号発行
を祝して



学校法人 関西大学
理事長 上原 洋允

会報「ひらかた」が第40号を迎えられましたことは、貴支部の歴代諸兄並びに関係者の皆様の支部運営に対するご尽力の賜物であると拝察いたします。時代の移ろいに呼応し、今後、各支部会報がWEB版へ移行するなどして媒体は変わりましたが、母校を同じくする者同士が気軽に交流できる温かい内容であってほしいと思います。

さて、校友会枚方支部会報の創刊は平成3年に遡りますが、当時、高槻における本法人初のキャンパスが竣工しました。それから19年の歴史を重ね、今年、同市に2つ目のキャンパス「高槻ミュージックキャンパス」が、さらに大阪南部に「堺キャンパス」が開校しました。いまや、母校は幼稚園から小学校、中学校、高等学校、大学、大学院を擁する一大学園へと飛躍したわけです。今後は、教育研究内容の更なる充実に努め、社会貢献、国際化といった責務を果たしてまいります。

4千名を超える会員を擁する枚方支部が、引き続き校友会の有力な支部組織のひとつとして活動を展開され、又、会報「ひらかた」を通じて支部会員の相互理解と親睦を深めていただくことを願っております。

「会報ひらかた」の第40号を祝して



関西大学 学長
楠見 晴重

関西大学校友会枚方支部が、このほど『会報ひらかた』の記念号である第40号を発刊されることに、衷心からのお祝いを申し上げます。

貴支部は、昭和33年（1958年）の創設以来、今日に至るまでいろいろな活動を継承してこられ、その一つとして平成3年4月に会報を創刊されました。会員の方々の動向や各種行事での交流のご様子など、紙面を通じて知ることができ、母校を共にするものの絆の強さを感じます。

関西大学は今年4月に、堺キャンパスに人間健康学部、高槻ミュージックキャンパスに社会安全学部、社会安全研究科を開設し、吹田のここ千里山を中心として、大阪の南北に学術と教育、文化の翼を広げることになりました。今後さらに、国内はもとより海外に対して貢献すると共に、日本のみならず世界で活躍できる人材を輩出していく所存です。

今後も、枚方支部のさらなるご発展と、「会報ひらかた」が充実した機関紙として成長していくことを心からお祈り申し上げます。

創刊号の名越支部長のあいさつ

枚方支部長 名越 日月

支部会員の皆様方には益々御健勝のこと、慶祝申し上げます。平素は本支部の運営に関し何かと御協力賜わりありがたく感謝致します。

さて、今更申すまでもなく校友会支部の運営につきましても、方法的に先づ（一）会員の把握、（二）運営資金の保有、（三）会員相互の情報交換、等が考えられますが、当枚方支部は、（一）については既に二回に亘り会員名簿を発行致しました。（三）については未だ一定した具体的方法は採用した事例がありませんので、今回初めて、『会報発行』を企画致しました。早速実施することとし取り敢えず養父、大谷、和泉の三副支部長を煩わし創刊号の発行にこぎつけましたが今後なお累年継続発行を祈念してやみません。会員各位の今後一層の御協力御援助を御願い申し上げて御挨拶と致します。

平成3年3月発行創刊号掲載より

祝

第40号発行おめでとうございます。
関大とともに益々発展されますように。

交野支部

祝

第40号を祝福し、益々の発展を
祈念します。

四條畷支部

祝

第40号を祝福し、益々の発展を
祈念します。

門真支部

祝

第40号発行おめでとうございます。
関大とともに益々発展されますように。

高槻島本支部

『会報ひらかた』40号の発刊を お祝いして



関西大学 校友会
会長 寺内俊太郎

関西大学校友会枚方支部の「会報ひらかた」40号の発刊を心からお喜び申し上げます。

貴支部は昭和33年の創設時から、歴代の支部長様はじめ役員、会員の方々からの支部活動の充実、および本部主催の活動へのご協力、並びに母校の発展に対するご尽力に対し、深い敬意と感謝を申し上げたいと思います。

平成3年からの「会報ひらかた」の発刊を通じて、会員の方々による交流と親睦を深める大切な存在となり、その継続には関係各位の並々ならぬご努力があるものと推察し、根底には変わらぬ母校への熱き思いがあるからだと存じます。

私たち校友会も「元気な校友会」をスローガンに、母校愛を高め、関西大学の一層の発展に寄与する所存です。そのためには、それぞれの支部における地道な活動を礎にしてこそ、学歌にあります「人の親和」を深め、校友の強い結束力につながると確信しております。

今後とも母校および校友会に対するご支援と、周辺支部の皆様との合同支部活動等を通じて更にご発展されますことをご祈念申し上げますとともに、貴支部皆様の益々のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。お祝いのことばとさせていただきます。

御 礼

会報40号記念号発刊に際し、ご丁寧なご祝辞を頂きましてありがとうございます。又、ご投稿下さった各氏に厚くお礼を申し上げます。

(会報編集委員会)

祝

第40号を祝福し、益々の発展を
祈念します。

寝屋川支部

祝

20年間、第40号の発行を祝し、
関係各位のご尽力に敬意を表します。

守口支部

『会報40号を祝して』

学校法人関西大学 評議員
関西大学 校友会 監事
枚方支部 顧問
朝倉 満

会報ひらかたは、平成3年3月の創刊以来、当刊にて早くも40号、継続は力なり、時代の変遷と同時に先輩各位の汗と涙の結晶の賜物だと思う。

「年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず」関西大学が明治19年に児島惟謙、等々の人達によって、関西法律専門学校として開校されて以来、今年で124年になる。児島惟謙が明治24年の大津事件の裁判で下した判決には、司法権の独立を守った事で、今日でも高く評価されて居る。人間としての良心と社会の正義を貫いた児島惟謙の信条は関西大学の建学の精神に確実に受け継がれて居る。

◎過去は確定的な悪で有り、未来は可能的な善で有る。これらの二断面を統一して、真の現実たらしめるのが、永遠に繋がる現在の実践で有る。

岩崎卯一

◎過去をして意義あらしめるのは現在で有り、現在をして意義あらしめるのは未来である。

久井忠雄

関西大学を築いて来た人達の言葉だが、正に温故知新の信念の中で、古さと新しさの変遷を経乍ら、関西大学、校友会そして枚方支部は大きく発展して来た。

枚方支部は、昭和33年6月の発足、平成20年6月のサンタマリア号での創立50周年記念祝賀会は未だ記憶に新しい。因みに校友会は、明治30年12月8日北区菅原町“相生楼”での総会が第一回目の誕生で有り、建学以来10年間の卒業生総数は208名、勿論北区河内町“興正寺”の本堂を借りての夜間授業。本学の草創期の頃の時代だ。

“会報ひらかた”本誌を一読すれば、大学の事、枚方支部の各事業・同好会の活動が、そして会員の動向迄知る事が出来る。編集の苦勞が伴うが、会報ひらかたの正に終りなき始まりで有る。

祝

第40号発行おめでとうございます。関大と共に益々発展されますようお祈り申し上げます。

枚方市役所秀麗会

祝

会報第40号の発行を祝し、
益々のご発展を祈念致します。

関西学院大学同窓会枚方支部

『会報ひらかた』と枚方支部沿革



支部長
阿部 進

支部会員の皆様方には、益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。平素は当支部の運営に関し、ご協力・ご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成3年3月の創刊号以来、早くも40号となりました。支部会報は、名越日月支部長（故人）を中心に、養父一郎（故人）・大谷豊一・和泉克弥の各副支部長のご尽力により、創刊号の発行にこぎつけ、今回の記念号の発行となりました。

〈枚方支部沿革〉

昭和33年6月22日吉田一郎支部長（故人）の元、枚方支部設立総会を開催。一時活動休止期間を挟み、昭和54年4月29日吉田一郎支部長の元、復活総会を「楽々亭」にて開催。昭和59年より「枚方市民会館」平成3年より「ひらかた仙亭」をホームグラウンドとして開催。支部長も吉田一郎氏から名越日月氏・養父一郎氏・大谷豊一氏・荒田英路氏・阿部進と代わり、平成20年6月22日に創立50周年記念祝賀会を帆船型観光船サンタマリア号の貸し切り〈参加者200名〉にて行えた事は最大の喜びでした。

枚方市在住の校友会本部役員は、棚野誠幸氏（元監事・故人）、荒井廣氏（元副会長・故人）、中上光雄氏（元副会長）、朝倉満氏（法人評議員・校友会監事）の方々が歴任されております。又、枚方支部では、校友総会にて永年顕著な功績を挙げた団体に贈られる組織顕彰を、昭和58年度に受賞しており、校友会員に対して贈られる個人功勞表彰受賞者は、昭和59年度・名越日月氏、平成6年度・養父一郎氏、平成7年度・大谷豊一氏、平成8年度・荒田英路氏、平成14年度・永田勝氏、平成15年度・和泉克弥氏、平成17年度・阿部進、平成20年度・服部寛治氏（枚方市役所秀麗会）、平成21年度・田中成人氏（関大会計人会）の方々も受賞されております。

枚方支部では、昭和の時代から行っておりました日帰りバスツアー・ゴルフに加え、ミニ講演会・カラオケ・グルメ・ボウリングが加わり、より一層充実した事業・同好会の活動を行っております。

校友会枚方支部は、地域の親睦団体であり『関大村』の県人会であります。しかし、他の親睦団体同様枚方支部でも女性会員や、若手会員の参加者が少なく、青年部を、A卒業後5年以内・B

ミニ講演会のご協力に感謝 テーマ・講師の情報提供を

副支部長
岸野 辰磨

阿部執行部の新しい企画として、各分野で御活躍の会員の皆様の知識、人脈を活かして会員同志が互に勉強し、更に向上発展することを目指す事業を立ち上げたいということから、本会が平成18年4月に発足いたしました。最初は十数名だった参加者も徐々に増え最近では、25名になりました。これも会員の皆様方の御協力によるものと前海会長はじめ主催者一同喜んでおります。

本会は年2回開催し、専門家による講演と、その後質疑応答の時間をもうけています。

私共は皆様方に関心がありそうなテーマを探すのに苦勞したり、予算の関係から講師の方々にも御協力をいただいたりと試行錯誤をしながら歩んできました。

「労務管理」「異業種交流の変遷」「相続」「心身の健康管理」「経済情勢」「成年後見制度」「適正な食事」「悪徳商法」等について、専門の先生方に講演をいただき大変好評を得ております。

また質疑応答も活発に行われています。

開催回数を、もっと増やしてほしいとか、講演会の後に懇親会をしてほしい等の要望がありました。それで早速、来る11月7日（日）、第9回講演会からグルメの会と合同で、懇親会を開催することになりました。詳細は本会報に掲載しておりますので、会員の皆様の多数の御参加を、お待ちしております。

また今後のテーマと講師に関して良い情報があればお知らせ下さい。

10年以内・C15年以内・D20年以内の4グループに分けて同世代において親睦を図れるよう考えております。ちなみに人口40万人超の枚方市に4100名超の関大の卒業生が居住されており、新卒者数は毎年100名を超えており、本年3月に関大を卒業されて枚方に居住されてる方は、107名おられます。

枚方支部の各事業・同好会活動は、様々な先輩・後輩と出会う事のできる「異業種交流会」であり、校友の絆を、一層深めて頂きます事を願っております。

名誉支部長
大谷 豊一

名誉支部長
荒田 英路

20年前、当時の名越支部長に枚方支部の「会報」を発行してはどうでしょうかと提案したところ、早速実施しようということになりました。

(故)養父一郎元支部長、和泉克弥元副支部長をはじめ多くの方のご協力を得て、創刊号を発行することができました。

編集方針は会員相互のコミュニティの輪を広げるため、紙面を通じてできるだけ多くの方々に参加、登場して頂くことにしました。

「会員通信欄」を設けて、近況を知らせてもらったり、「メンバー紹介」を長期間継続したり、こちらから会員のお店を訪問し、ユニークな訪問記も書きました。

広告を通じてこういうお仕事をされている会員さんもいらっしゃるということを伝え、皆さんにご利用を呼びかけてきました。当時広告を出して頂いた方々にお礼を申し上げます。

枚方支部は30数年前、支部復興のため支部規約(会則)の草案を作成したり、復興総会の準備など、私たち(好住氏・荒田氏ら)と一緒に頑張って協力して頂いた多くの方々の絆があり、再建することができました。

支部復興後31年間毎年継続して総会の開催をはじめ、諸事業を行い、会報も20年間継続して発行できたのは、“人と人の強い絆”がその原動力となっています。正に感慨無量です。

しかし順風満帆なときばかりではありませんでした。役員会を開催しても数名しか集まらない苦難の時期もあり、今思えば、よくぞここまで続けてこれたと感慨無量の心境です。

私のおと荒田名誉支部長に大役をお願いし、物心両面に渡って、よく貢献していただきました。

そして今なお活発に活動できているのは、阿部支部長をはじめ、スタッフの方々の献身的なご尽力のお陰だと感謝しています。どうもありがとうございました。

合 掌



「バブル経済崩壊」という言葉が遠く霞んだような感じさえする。「バブル経済が崩壊」した後、「失われた10年」と言われ、経済は低迷、アメリカの消費景気に支えられてわが国の貿易黒字が続いたが、アメリカの消費景気を支えていた「サブプライムローン」の破綻は世界経済を一気に世界恐慌突入の懸念を抱かせた。各国が挙って金融機関にテコ入れをしたため、世界恐慌寸前で治まるかに思えた途端、今度は大型台風の襲来の如き「リーマンショック」、あのリーマンの倒産と言う大打撃で経済は大揺れに揺れた。一番被害が少ないと言われたわが国に台風は直撃した。「派遣切り」や「内定取り消し」など大手企業中心に横行、日本経済を揺さ振り続け、「ドバイショック」、更に「ギリシャの危機」が追い打ちをかけ、今日に至っている。

このように経済や経営の環境が激変している中、何処の団体でも会員数が激減し、会の運営自体盡ならない団体すら出て来ている。各団体共に会員増強に精力を注入しているものの仲々会員増加に直結するまでには至っていないのが現状である。

枚方支部は、故吉田支部長(大阪万博迎賓館々長)を中心にして12名の副支部長が吉田支部長を支え再スタートをした。

その後、大谷副支部長(当時、現名誉支部長)の肝入りで会報の第1号が発刊された。その後も中断することなく、節目の40号という記念すべき会報の発行を迎えることができたのは、誠にうれしいことである。

20年間途絶えることなく続いて来たのも一重に大谷氏の並々な情熱とそれを支えて来たメンバー・スタッフの努力の賜物である。

ほとんど例外なく、会員数を減少させている各種団体の現状を見聞するにつけ、枚方支部の会員数は大幅な減少を見ることなく推移しているのは、阿部支部長をはじめ、現役員の皆様方の努力は言うには及ばず、会報の果して来た役割を強く感じないではおられない。

今後、更に新しい企画で充実した紙面にし、現会員の継続と新しい会員の増加に寄与することを願って止まない。

「会報ひらかた」の思い出

顧問・元副支部長
和泉 克弥

「炎夏」という熟語があるようですが、今夏は正にぴったりでございました。

「会報ひらかた」に関しては、大谷豊一元支部長が、学生時代ガリ版刷りの広報紙を発行していたという経験を生かし、原稿の募集、校正等を一手に引受けられ、私は大谷さんの命のまま動いただけであり、発行に際しての費用は「広告」ということになり、スポンサー集めが私の主たる役目で行っていました。勿論役員の方々の協力もありましたが毎回そうもいかず足りない時は、枚方青年会議所（JC）の仲間や司法書士事務所（OB）に強制的に割当、集金に回ったのを覚えております。

今はスポンサーなしで発行されていますが、その費用はどうなっているのか少々気掛かりでございます。

当時、私も元気でしたので支部の活性化と親睦のためにとゴルフの幹事を引受けました。その節、特にお世話になったのが、漆原氏であり、平氏でございました。

コンペといえば毎回四～五組、主戦場は「私市CC」でしたが参加人数が少ないときは個別に電話をし、世話役が手分けして先輩（今は他界なさっている方々が多くペンを持ちながらお一人、お一人の顔が浮かんでまいります。）の自宅へ迎えに行き、お送りしました。

余談ですが、現阿部支部長はドラコン、ニヤピンを一度ずつ取っておられます。スコアは惨めでしたが・・・プレー後の懇親会は当時の大谷支部長にもご出席いただき本当に楽しかった時間を過ごした記憶が鮮明です。

“もう一度、あの時代に戻りたい！！”

今後の支部の発展と会員皆様のご健勝を祈念いたします。

校友總會のご案内

本年度は、10月17日(日)午後1時より『BIGホール100』にて開催されます。1部の総会では、副支部長の和田正彦氏（昭41商卒）が個人功労表彰を受賞されます。2部の記念講演では『日本刀の魅力とその伝承』について校友で刀匠の河内國平氏にご講演を頂きますので、お誘いあわせの上、多数ご参加して頂きますようお願いいたします。◎懇親会は無料です。

会員通信（お便りを下さい）

佐和田 丸 昭和41年法卒

私のマンションから高槻の総合情報学部、社会安全学部が見えます。母校も発展の一途をたどっているようで、ご同慶の至りです。ところで島根県松江市の身内経営、土地家屋調査士事務所を大阪へ移転計画中です。仕事、事務所の提供・紹介等ご協力いただければ幸甚です。

中上 光雄 昭和23年商卒

昨年末、胃腸の手術後体調が悪く、あまり外出出来なくなりました。

会費納入のお願い

通信費、印刷費、事務費などの諸経費は、会員の年会費でまかなわれております。

今後、総会・旅行・各種同好会等のご案内は、年会費を納入された方に連絡いたしたく思いますので、下記の会費規定に因ったかたちでのご協力をお願い申し上げます。尚、納入には払込用紙をご利用下さい。通信欄には卒業年・学部・学科・その他当支部へのご意見・ご要望・近況などをご記入下さい。

[会費規定]

★1年会費 2,400円 ★5年会費 11,000円
★10年会費 20,000円

何年会費にするかの選択は会員本人の自由意思です。尚、既に本年度会費納入済みの方々には、払込用紙を入れませんのでよろしく申し上げます。

輝く歴史に、オール関大で躍進しよう！

副支部長一同

荒木 堯之	岸野 辰磨	永盛 啓司	西田 政充
野村 宜孝	服部 寛治	養父 孝	和田 正彦

春のレクリエーションに参加して

副幹事長 赤井 克也

5月30日(日)予約しておいたような晴天に恵まれバス旅行が始まった。

トイレ付バスということで安心したのか飲み物が次々となくなる。中山世話役と市山世話役は配るのに忙しい。

比叡山ドライブウェイの展望台から琵琶湖を望む。50年前オートバイで来たときと比べると、なんと民家が増えたことか。でも琵琶湖は変わらず座っていた。

「ガーデンミュージアム比叡」に着いた。モネ・マネ・ルノーなど、有名な絵画を陶板自体に焼き付けて野外に展示してある。陶板焼きは食べた事はあるが、これは始めて見た。



昼食場所は雄琴温泉最大のホテル雄山荘である。広い玄関からエスカレーターで上がり迷路を通過して宴会場に到着する。阿部支部長挨拶の後、本日の最長老である前辻先輩の乾杯で始まった。酔いが回ったところで風呂に向かう。たどり着いた風呂は琵琶湖を見下ろす大きな露天風呂で、皆さんメタボのままゆったりと浸かっていた。

「びわ湖鮎家の郷」はおみやげ物の大きな市場のあつまりである。買い物をして帰るといつも家内に怒られる。手を後ろに組んで中に入った。値段だけを見て外に出る。

最後は琵琶湖博物館である。琵琶湖の歴史から、現存する全ての魚を集めた水族館まで備えていた。建物もさることながら展示も清掃も行き届いていた。聞くところによると、現滋賀県知事がこの博物館の総括学芸員をしていたらしい。ここだけでも1日は楽しめる。

穏やかな波を見て、久々に浮世の荒波から離れることができた。明日からの英気を養うには十分な旅であった。

☆ミニ講演会の報告と次回開催のお知らせ☆

★第8回ミニ講演会

平成22年5月9日(日)13時30分よりメセナひらかたにて消費生活相談員塚田朱美先生による『悪徳商法について』を25名の参加者の下、ご講演をして頂きました。



次回開催日は、11月7日(日)に14時30分よりメセナひらかたにて管理栄養士山本千恵子先生によるメタボ対策の食生活についてご講演頂きます。



連絡先 前海泰三 Tel&Fax 072-867-3302

Email qqr72ppd@clear.ocn.ne.jp

岸野辰磨 Tel 072-856-4034 Fax 072-851-5088

Email kishinojimusho@r3.dion.ne.jp

★枚方の未来を考える会 副支部長 養父 孝

来る11月7日(日)午前11時より北大阪商工会議所におきまして、『西田政充議員(枚方支部副支部長)を励ます会』を行いますので、多数ご出席して頂きますようお願い致します。

枚方支部からは30名を予定しております。

会費 2,000円

申込みは養父孝 Tel&Fax 072-857-7136まで

同好会通信

カラオケ同好会

★第18回カラオケ同好会の集い

平成22年6月13日(日)にジャンボカラオケにて写真の皆さん方と楽しく開催いたしました。

岸野夫妻や初参加の大谷さんのユニークな歌やクイズでさらに盛り上がりました。



■次回開催日のご案内

行事名：カラオケ同好会の集い

日時：10月10日(日)正午～午後3時

場所：ビッグエコー Tel 072-804-3225
(枚方市駅北ロータリーから徒歩1分)

会費：3,000円

申込み：世話人 赤井克也

Tel&Fax 072-847-2226

Email akai-katuya@isis.ocn.ne.jp

西田政充

Tel&Fax 072-867-9356

Email m-nishida@msg.biglobe.ne.jp

グルメ同好会

★第10回グルメ同好会

11月7日(日)のミニ講演会終了後(17時30分頃予定)、がんこ枚方店(Tel 072-843-2225)に於いて、グルメ会を行います。尚、会費は4,500円です。

■連絡先

出口裕記 Tel 072-840-8518

Fax 072-805-6867

Email hirokild@y3.dion.ne.jp

堀切重人 Tel&Fax 072-861-2468

ゴルフ同好会

★第19回京阪沿線近隣支部親睦ゴルフ大会

平成22年5月27日(木)交野カントリークラブに於いて、5組19名のメンバーで開催しました。昨今、地球の温暖化が心配されていますが、当日は5月末に20度を切るという天候でしたが、快晴で半袖ポロシャツの上にセーターを着てのプレーでした。

今回は、久々に四条畷支部より、校友2名の方の参加があり、賑やかに、楽しいゴルフを満喫しました。成績では、荒木が優勝、第2位には田中成人さんと久し振りに枚方支部が健闘しました。



次回は、四条畷支部の幹事にて、10月26日(火)『ゴルフクラブ四条畷』にて行いますので、多数お申込みをお願いします。

参加申込みは、枚方支部副支部長

荒木堯之 Tel&Fax 072-854-0159まで

ボウリング同好会

★第43回校友会枚方支部ボウリング同好会成績表 平成22年4月14日(火) 牧野松園ボウル

順位	氏名	H.C	H.C 込み	スクラッチ	次回 H.C
優勝	佐々木敏人	52	386	282	52
2位	上野 収	24	348	300	31
B.B	出口 裕記	21	346	302	26

史上最低人数で開催したボウリング大会も、史上最低レベルのスコアで佐々木さんの優勝となりました。次回はもう少しにぎやかにやりたいと思いますので、積極的にご参加していただくよう期待しております。

★第44回校友会枚方支部ボウリング同好会成績表 平成22年8月24日(火) 牧野松園ボウル

順位	氏名	H.C	H.C 込み	スクラッチ	次回 H.C
優勝	西田 政充	79	427	269	67
2位	永盛 啓司	53	415	309	52
3位	出口 裕記	26	376	324	29
B.B	佐々木敏人	52	332	228	52

ボウリング同好会が始まって8年半、久しぶりに初優勝者が生まれました。誰がこの人の優勝を予想したでしょうか。よほどレーンと相性がよかったのか、ストライクを連発して初優勝を果たしました。初参加の宮田さんは、枚方市内で行政書士をしています。



次回開催は、12月に忘年会を兼ねて開催予定。

■連絡先

中山雅博 Tel&Fax 072-848-4757

Email isuzu@kcat.zaq.ne.jp

永盛啓司 Tel 072-898-8155

Fax 06-6170-4886

Email nagamori@fuga.ocn.ne.jp